

各 位

上場会社名	シグマ光機株式会社
代表者	代表取締役社長 森 リョウジ
(コード番号	7713)
問合せ先責任者	取締役管理本部長 菊池 健夫
(TEL	03-5638-8221)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年12月26日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年5月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年6月1日～平成21年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	6,860	290	460	140
今回発表予想(B)	6,389	200	367	107
増減額(B-A)	△470	△89	△92	△32
増減率(%)	△6.9	△30.8	△20.0	△22.9
(ご参考)前期実績 (平成20年5月期)	8,055	1,205	1,318	727

平成21年5月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年6月1日～平成21年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	6,450	220	420	120
今回発表予想(B)	5,892	114	305	64
増減額(B-A)	△557	△105	△114	△55
増減率(%)	△8.6	△47.8	△27.2	△46.4
(ご参考)前期実績 (平成20年5月期)	7,421	962	1,142	605

修正の理由

・通期業績予想値の修正について

金融危機に端を発した世界同時不況に伴う急激な需要の低迷と円高進行により、非常に厳しい事業環境が続いております。

このような環境のもと、当社グループ全体として経費削減、生産調整を進めるとともに、積極的な営業活動を行って参りましたが、想定以上の受注減に見舞われました。その結果、売上高につきましては、システム製品事業において、前期の受注残による大口案件の検収があり、計画を若干上回ったものの、要素部品事業の全セグメントにおいて、半導体業界および液晶業界の設備投資延期・凍結の影響を受け、計画を下回りました。

営業利益、経常利益、当期純利益につきましては、売上高の落ち込みの影響に加え、在庫評価の見直しを再度実施し、評価損33百万円を追加計上したことなどにより、前回(平成20年12月26日)発表の通期業績予想を再度下方修正いたします。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後、様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上